

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月6日

## 【評価実施概要】

	2970400566
法人名	医療法人健和会
事業所名	ふれあい天理
所在地	奈良県天理市中之庄町531 (電話) 0743-61-0015
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年10月4日

## 【情報提供票より】(19年9月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年3月2日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 8人, 非常勤 7人, 常勤換算	11.7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造2・階建て造り		
	階建ての	階 ~	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(350,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1600 円	

### (4) 利用者の概要(9月18日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	7名	要介護2	7名		
要介護3	5名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 86.6歳	最低	76歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	奈良東病院 うおずみ歯科診療所天理
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

永年地域医療に取り組み続けてきた法人が運営する医療・福祉の総合施設の中に立地し、11年間認知症ケアに係わってきた看護師が館長を勤められるホームです。かかりつけ医が認知症に理解のある専門の医師となり、終末期も医療始め他の施設と連携を図り対応されています。夏祭りには利用者とその家族、職員はもとより地域住民も参加して一緒に楽しめるよう支援されています。ホームの横の細い道は安全な散歩道として毎日利用し地域住民との触れ合う機会とされています。利用者のその人らしい暮らし、本人の思いを尊重するケアを職員と共に取り組まれて、ケアはきめ細かく色々な工夫や配慮がみられます。

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>食事を楽しむための支援では、実現するまでに至っていませんが、職員も一緒に食べながら、語りかける等和やかな雰囲気です。また、金銭管理の自己管理が困難な利用者への支援についても実施するまでに至っていませんが、お金を持つことで安心、自信につながりますので、小額でも利用者の力量や状況を勘案して本人自らが管理できるように支援されることが望まれます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連事項:外部4)</p> <p>評価に対する意義や目的は良く理解し、評価を行かして、ホームの質の確保に取り組まれています。評価の狙いや活用方法について全職員の理解と一連の過程を通じて質の確保を図る上で、評価は全職員で取り組むことが大切です。全員で取り組めるよう、検討されることを望みます。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、区長・市職員・包括支援センター・家族・民生委員など幅広いメンバーで構成され、ホーム側の報告に加え、参加メンバーから質問・意見・要望を引き出し、そこでの意見をサービス向上に活かされています。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問時には声をかけ、利用者の状況や暮らしなど話されています。また、定期的に報告もされています。カンファレンスや面会時に家族と話す機会を多く持ち、伝えやすい状況を作り出されています。なお、法人全体の意見箱が設置され得られた情報は各施設に流れ、ミーティング等で検討する仕組みとされています。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の季節の行事や蕁狩り、花見などに参加する等交流をもてるよう、ホーム側から積極的に働きかけておられます。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人の理念に基づき、地域とのふれあいを大切に家庭的な雰囲気の中で尊厳ある生活を支援することを理念とされています。玄関に母体の理念の横にグループホーム独自の(共に暮らす)理念が作られています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時には必ず理念に対する理解を深めるための研修が行われています。ミーティング時にも理念に触れて確認されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の季節の行事や蕁狩り、花見などに参加する等交流をもてるよう、ホーム側から積極的に働きかけておられます。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価に対する意義や目的は良く理解されています。評価を行かして、ホームの質の確保に取り組まれています。		評価の狙いや活用方法について全職員の理解と一連の過程を通じて質の確保を図る上で、評価は全職員で取り組むことが大切ですから、全員で取り組めるよう、検討されることを望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、区長・市職員・包括支援センター・家族・民生委員など幅広いメンバーで構成され、ホーム側の報告に加え、参加メンバーから質問・意見・要望を引き出し、そこでの意見をサービス向上に活かされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政とのかかわりは、求められたときには必要に応じて利用者の状況等を報告し、ホームの運営及び利用者の処遇等について詳細な情報提供をされていますが、運営推進会議以外に行き来する機会を作る取り組みは希薄なところが見られます。		地域密着型サービスとなり、市の理解や支援など必要な事が多くなり、ホーム側からこれまで以上に市の担当者などに積極的に働きかけることを望みます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時には声をかけ、利用者の状況や暮らしぶりなど話されています。また、定期的に報告もされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	カンファレンスや面会時に家族と話す機会を多く持ち、伝えやすい状況を作り出されています。また、法人全体の意見箱が設置され得られた情報は各施設に流され、ミーティング等で検討する仕組みとされています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者の異動はなく、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、職員の異動時には引継ぎ等の期間を持つ等、利用者へのダメージを防ぐ配慮をされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の基礎研修は1週間あり、その後も内外研修には、積極的に参加できるように配慮し職員を育てる取り組みがされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームと交流し、見学会や勉強会などを共にされています。また、外部の研修会にも積極的に参加されサービスの向上に取り組まれています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>職員が訪問したりまた、来所されたりして、徐々に輪を広げ関わりをもたれて馴染みの関係作りに工夫されています。また、家族の不安な思い、困ってる事など良く聞き信頼関係を築いていけるよう取り組まれています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有し、利用者に教えてもらう場面が多くもてるように工夫されています。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや意向は、日々のかかわりの中で確認されています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族には日々のかかわりの中で、思いや意見を聞き、それをスタッフで話し合い、介護計画に採り入れて作成されています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の定期的な見直しは6ヶ月ないし1年に1度行われています。また、本人や家族の要望や変化が生じた場合にはその都度見直しされています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かし早期退院、終末期の入院回避など利用者、家族の要望に柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内の病院の認知症に詳しい専門の医師と信頼関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援されています。また、希望があれば、家族が同行することとなりますが、馴染みのかかりつけ医に受診することも出来るようにされています。なお、その事は説明し同意を得るようにされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の意向に沿って、終末期に向けて早期から関係者が集まり話し合いの機会を持ち方針の共有が図られています。家族の気持ちの変化や病院の対応にも柔軟に支援する等、ターミナルケアに積極的に取り組まれています。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全職員が利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応の仕方及び個人情報の取り扱いについての研修を受けておられます。日々の暮らしの中での職員の利用者に対する言葉使いにも管理者は注意を払い職員に指導されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は食事時間以外は特に決めず、一人ひとりの体調に配慮し、その日その時の本人の気持ちを尊重して、個別性のある支援をされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事の準備や後片付けをされています。職員は同じテーブルで見守りに徹しておられ、会話は無く食事を楽しむ雰囲気が感じられないところが見られます。		職員はサポートに徹しておられますが、ホームの特性を踏まえ、職員も同じテーブルで同じものを食べ会話を楽しみながらの食事となるように工夫されることを望みます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められていますが、それ以外の時間帯や曜日であっても希望に応じ柔軟に対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	習字や体操等利用者一人ひとりにあった楽しみごとが出来よう支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺地域に続く道路を活用し、そこでの住民との交流を楽しめるようにする他、利用者の希望に沿って戸外に出かけられるよう支援されています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵をかけず、利用者が外出しそうな様子を察知したら、止めるのではなく、さりげなく声をかけたり一緒についていく等、安全面に配慮して自由な暮らしを支援されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人全体の災害対策委員会があり合同の訓練をされています。グループホーム独自の訓練もされ、災害時には全体での協力体制が出来ています。食料品等の備蓄もされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養・水分摂取状況を毎日チェック表に詳細に記録し、職員が情報を共有されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は天井が高く、窓も高い位置に取り付ける等空気の流れるように配慮されている他、大きな窓には遮光カーテンとレースのカーテンで光と熱を調節し、室内には季節の花を生けられている等、五感や季節感を意識的に採り入れる工夫がなされています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	布団とカーテンはホームで準備されていますが、居室内の備品はすべて家庭からの持込となり、使い慣れたものを活かして安心して過ごせるよう工夫されています。		